



須留が峰

令和5年度
No.15

HPアドレス <http://yabuboard.ed.jp/yabu-jhs/>



令和5年10月3日 発行



風は秋色

体育大会で3年生が取り組んだ学年競技「青い珊瑚礁」。その競技の最中に会場で流れていた音楽は、もちろん、あの松田聖子さんの「青い珊瑚礁」でした。

あれから松田聖子さんの歌をまた聴き直しています。聖子さんの秋らしい歌と言えば、「風は秋色」とか「風立ちぬ」といった歌がすぐに思い浮かびますが、「9月の夕暮れ」も名曲かと思います。この歌も、サビの部分で急に高音域になり、それをいとも簡単に伸びやかに歌いきっていき聖子さんらしい楽曲です。歌の中の主人公が、やさしくて、少ししんみりとした秋の情景の中で、「私のどこかが変わっていくわ」と締めくくる歌詞になっています。どのように変わっていくのか、聴き手の想像がふくらむところですが、マイナー・キーで始まった曲がサビの部分で明るいメジャー・キーになる聖子さんらしい曲調のとおり、前向きにまたよりよく変わっていこうとする主人公の心持ちが感じ取れます。

10月に入り、朝夕に肌寒さを感じるようになってきました。道端には、彼岸花や秋桜を見かけるようになりました。先週29日(金)の「中秋の名月」は本当に美しく、気持ちがすうっと軽くなるような、まさに名月でした。季節は着実に移り始めています。



あの暑い熱い夏を経て、体育大会を成功させた生徒たち。今や1、2年生は新たなチームで新人戦に臨んでいます。3年生は、これからまた文化祭に向けて取組を始動させることでしょうか。とは言え、この時期の、一見代わり映えないような日常生活の中で、授業中の学びの姿勢や掃除、生徒会活動、家庭での学習(課題)や手伝いといった「あたりまえのこと」をいかに「あたりまえのこと」としてこなし、積み重ねていくかは、この秋の自分を実らせる上で重要なポイントです。日々の小さな積み重ねの中で、「どこかが変わっていく」自分を感じながら、自分自身をさらに成長させていってほしいと思います。

ドローンからのプレゼント



28日(木)、本校を会場に市の事業としてドローンによる物流の実証実験が行われました。その模様はサンテレビや市のCATVで放映されているところですが、現場としては本当にわくわくする時間になりました。ドローンが荷物を持って本校の中庭のポートに着陸した瞬間の生徒たちの歓声は、素直な感動による思わず出ってしまった声だと思います。今回の実証実験に参画できたことを本当にありがたく思っています。



そう遠くはない未来の姿を思わせる自動搬送ドローンやロボットのメカニクな世界はもちろんのこと、今回の一連の動きの中でもうひとつ感動させられたことがあります。それは、このプロジェクトに参加しているスタッフの方々の動きでした。

養父中ブランディング計画 進行中



＜ドローンの到着＞

花王はもちろん、ドローン本体、その自動飛行に係るプログラミングやデータ管理、搬送ロボット、飛行実況のためのもう1台のドローン管理やその映像の受信・配信、事後の3年生を対象としたワークショップの企画・運営など、各分野での専門家が協働的にそして迅速に、責任をもって物事を進めていく動きは、さすが企業ならではの感心させられる



＜配送荷物を受け取って＞

ものでした。大勢のスタッフの中に、きびきびと全体に確認・指示され、こまめに動かれている女性の方がおられました。その姿に憧れを感じていた女子生徒もいたようです。

今回の実証実験を通してドローンがもたらしてくれたプレゼントは、単に運ばれてきた荷物だけでなく、生徒たちがこれから担っていく未来のイメージ像であったり、将来、社会人となって仕事をしていく憧れとしての姿であったりするのかもしれませんが。こうした意味で、このたびは本当によい機会になりました。



＜事後のワークショップ＞

9月20日(水)、但馬中学校秋季陸上競技大会が豊岡市の陸上競技場で行われました。

夏の間、朝練習を積み重ねてきた選手たち。日によっては、朝練→体育大会の練習→放課後の部活動と続くこともある中、根気強く練習に励んできました。その成果として、春に続き、数々の入賞を果たしました。惜しくも入賞を逃した選手も含めて、個々の選手のがんばりが本当によく光った大会でした。

秋季陸上競技大会



共通男子	4×100mR	(5位)	
共通男子	110mH	(3位)	
1・2年生男子	1500m	(5位)	(7位)
1・2年生男子	走幅跳	(8位)	
低学年男子	4×100mR	(3位)	
共通女子	円盤投	(1位)	(3位)
3年生女子	砲丸投	(4位)	
1・2年生女子	砲丸投	(5位)	



新人戦の結果



ソフトボール部	9/30(土) 10/1(日)	養父市立養父中学校	和田山中との合同チームで迎えた今回の新人戦。日高東中と対戦では、悔しいコールド負け。その思いをバネに挑んだ翌日の夢が丘中との対戦では、4-19で勝ち、続く3位決定戦で再び対戦した日高東中とは、10-9で惜敗。気持ちを切り替え果敢に次に挑んでいく姿勢をこれからも大切になんがばっていきましょう！
野球部	9/30(土) 10/1(日)	植村直己球場 このとり球場	大屋中との合同チームで迎えた今回の新人戦。第1戦は梁瀬中と対戦し、10-3でコールド勝ち。翌日には豊岡北中と対戦し、2-3で惜敗。大屋中と本校の生徒がよく声をかけ合ってプレイする姿が印象的でした。次の大会でさらに息の合った連携プレイが見られることを期待しています！

「To Be a Good School」(良い学校をつくろう)